

伊方原子力発電所環境安全管理委員会環境専門部会(H29. 8. 1)で

取りまとめられた意見

1 平成 28 年度伊方原子力発電所周辺環境放射線等調査結果

空間放射線の測定結果については、伊方発電所からの放出と考えられる線量の変化は認められない。

また、環境試料の核種分析結果については、一部の環境試料から、セシウム-137 等が検出されたが、微量であり、人体への影響上問題となるような濃度は認められていない。

2 平成 28 年度伊方原子力発電所温排水影響調査結果について

過去の調査結果と比較して同じ程度であり、特に問題となるものは認めらない。

また、伊方発電所 3 号機の再起動の影響により、放水口の温度上昇が若干見られるが、過去の起動時の調査結果と比較して特段大きな違いはなく、問題となるものは認められない。